



高病原性鳥インフルエンザの発生 防止対策をお願いします！

3月に入り再び、国内の死亡野鳥から本病ウイルスが検出されています。春の渡りが本格化するこれからは、本病の侵入リスクが最も高くなる時期です。家きんへの感染を防ぐため、**防鳥ネット**や**家きん舎の点検・修繕**や**消石灰散布による消毒**など、**発生予防対策の徹底**をお願いします。

消石灰散布による消毒について

消石灰による消毒が、本病の発生予防に有効です！

☆ポイント☆

- ・農場の外縁、出入り口、家きん舎の周囲に幅1m以上散布
- ・散布量の目安は1㎡あたり1kg
- ・酸性消毒薬と混ぜない
- ・散布時は消石灰が直接、皮膚・口等に付着しないように注意し、作業後は手洗い及びうがいを行う



(鶏舎周囲の消石灰散布)

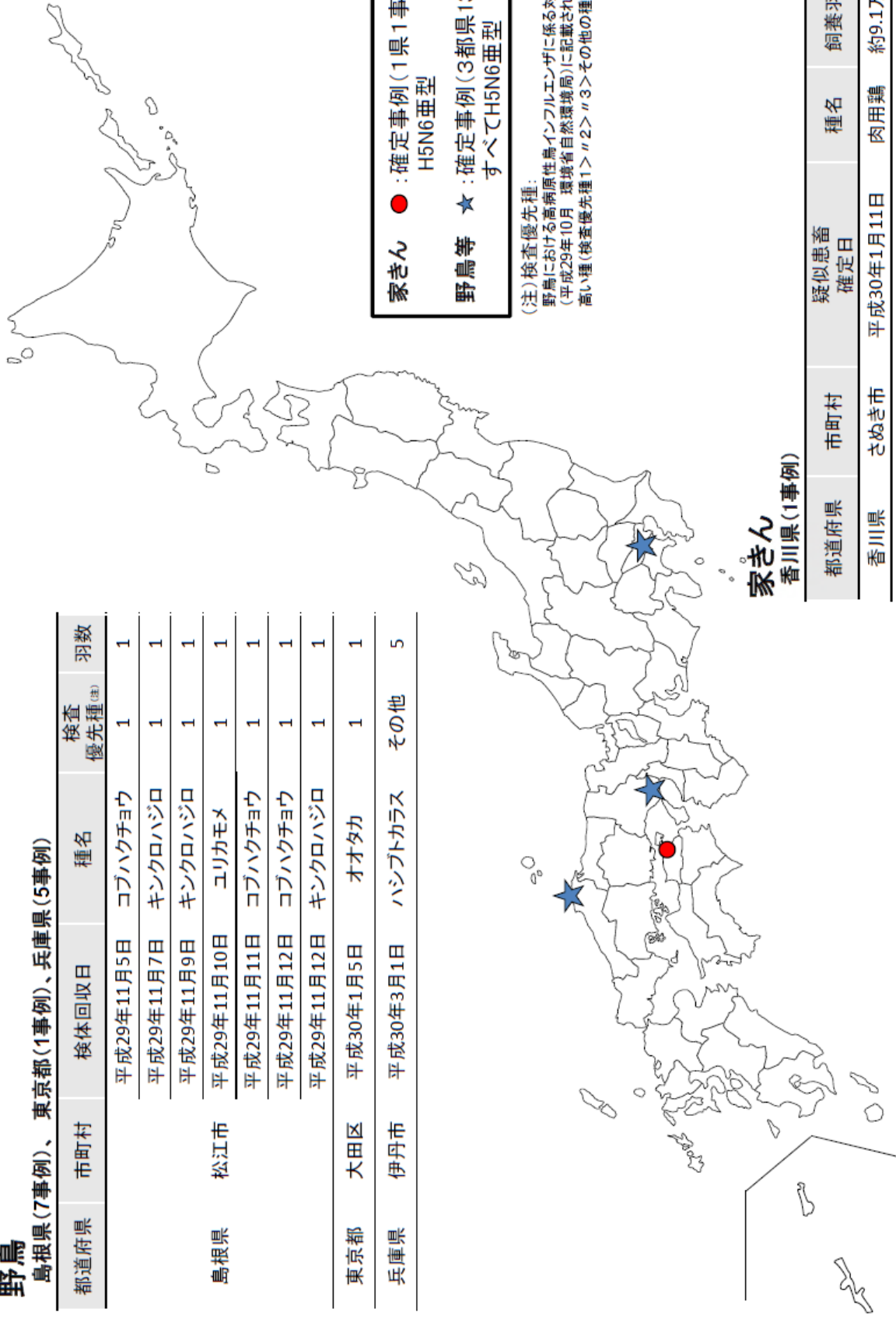
国内における高病原性鳥インフルエンザの発生状況(平成29年11月以降)

(平成30年3月6日時点)

野鳥

鳥根県(7事例)、東京都(1事例)、兵庫県(5事例)

都道府県	市町村	検体回収日	種名	検査優先種 ^(注)	羽数
鳥根県	松江市	平成29年11月5日	コブハクチョウ	1	1
		平成29年11月7日	キンクロハジロ	1	1
		平成29年11月9日	キンクロハジロ	1	1
鳥根県	松江市	平成29年11月10日	ユリカモメ	1	1
		平成29年11月11日	コブハクチョウ	1	1
東京都	大田区	平成29年11月12日	コブハクチョウ	1	1
		平成29年11月12日	キンクロハジロ	1	1
東京都	大田区	平成30年1月5日	オオタカ	1	1
兵庫県	伊丹市	平成30年3月1日	ハシブトカラス	その他	5



家きん ● : 確定事例(1県1事例)
H5N6亜型

野鳥等 ★ : 確定事例(3都県13事例)
すべてH5N6亜型

(注)検査優先種:

野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル(平成29年10月、環境省自然環境局)に記載された感染リスクの高い種(検査優先種1>#2>#3>その他の種)

家きん 香川県(1事例)

都道府県	市町村	疑似患畜 確定日	種名	飼養羽数
香川県	さぬき市	平成30年1月11日	肉用鶏	約9.1万羽